



山口県内経済の動き

山口県内景気は、一部で足踏みが見られるものの 総じて緩やかに回復している

現状



生産は化学等が低下し、全体の指数も3ヶ月連続で前月比マイナスとなった。また、輸出額は2ヶ月連続で前年比で低下するなど弱めの動きとなる一方、有効求人倍率は3ヶ月ぶりに1.3倍超となり、実質賃金もプラス。消費者物価指数が高止まる状況下で、個人消費は百貨店・スーパー販売額などで持ち直しの動きがみられる。観光は持ち直しの動きがみられ、設備投資も増加傾向にあるなど、県内景気は総じて緩やかに回復している。

先行き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

	景況判断		コメント
	方向		
雇用情勢			有効求人倍率は3ヶ月ぶりに1.3倍超（1月）、実質賃金は3ヶ月ぶりに前年比プラスとなる（12月）。
個人消費			百貨店・スーパー販売額が15ヶ月連続で前年を上回るなど、全体として着実に持ち直している（1月）。
観光			主要観光施設の利用者・宿泊者数は、持ち直しの動き（12月）。
住宅建築			持家、貸家、分譲ともに前年比プラスとなるが、全体として弱めの動きとなっている（1月）。
公共工事			公共工事請負金額は、国からの発注が増加し、2ヶ月連続で前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（1月）。
倒産			負債総額は2ヶ月ぶりに前年比マイナスとなるも、全体としては横ばい圏内で推移している（1月）。
生産活動			鉱工業生産指数は化学等の低下もあり、3ヶ月連続で前月比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（12月）。
輸出			輸出額は2ヶ月連続で前年を下回り、全体として弱めの動きとなっている。貿易バランスは36ヶ月連続の出超（1月）。
設備投資			2025年度の設備投資計画額は、5年連続の前年比プラス（当研究所が2月に実施した「企業経営・設備投資動向調査」による）。

* 「景況判断」は、現在の水準を5段階の天気マーク（晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨）で表示
「方向」は、前月からの基調としての変化方向（好転・不変・悪化）。好転・悪化における実線の矢印は、天気マークの変化を伴うもの、点線は天気マークが変化しないもの。

<主要経済指標の動き> (前年同月との比較)

	2025年												2026年
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
有効求人倍率	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●
所定外労働時間（製造業）	○	○	○	●	●	●	○	●	—	●	●	●	△
百貨店・スーパー販売額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
乗用車新車販売台数	○	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	○	●
新設住宅着工戸数	●	○	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	○
公共工事請負金額	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○
企業倒産件数	—	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○	●	○
鉱工業生産指数	●	○	○	●	○	●	●	●	○	●	●	●	△
輸出額	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●

○：好転 ●：悪化 —：横ばい

* 鉱工業生産指数は原指数、所定外労働時間は事業所規模5人以上、百貨店・スーパー販売額は全店舗、乗用車新車販売台数は軽乗用車含む、有効求人倍率は原数値

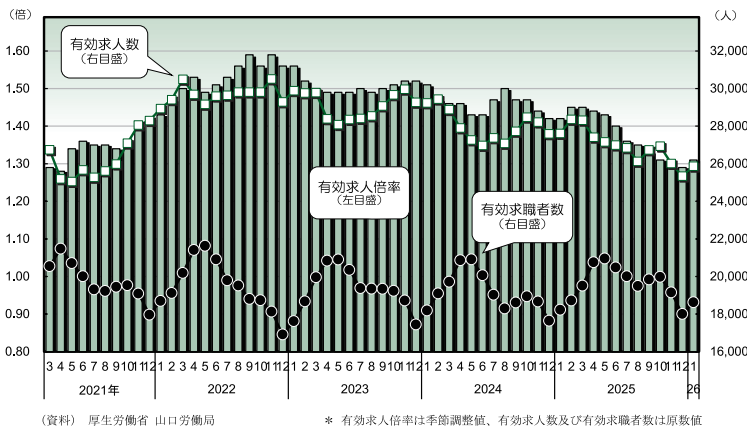
1

雇用

有効求人倍率は3ヶ月ぶりに1.3倍超、実質賃金はプラスとなる

有効求人倍率（1月：前月比+0.02ポイント、季節調整値）は1.31倍と3ヶ月ぶりに1.3倍超となる。**新規求人数**（1月：前年比▲2.3%、パートを含む原数値）が9ヶ月連続の前年比マイナス。業種別にみると、運輸業、郵便業、宿泊業・飲食サービス業等で減少。**職安別の有効求人倍率**（1月、パートを含む原数値）をみると、下関が1.75倍で最も高く、防府が1.13倍で最も低い水準。

有効求人倍率（有効求人人数・有効求職者数）の推移



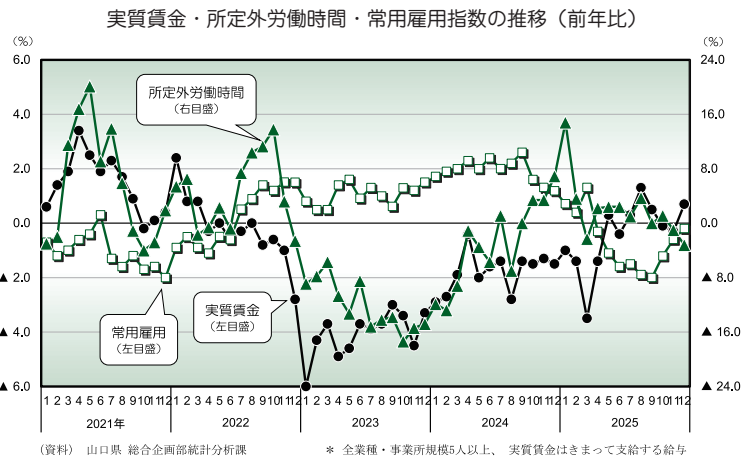
有効求人倍率（2026年1月）

(単位：倍、ポイント)

	2026年1月			2026年1月	
	1月	前年比		1月	前年比
山口	1.43	▲0.33	徳山	1.44	▲0.15
下関	1.75	+0.09	下松	1.14	▲0.04
宇部	1.51	▲0.18	岩国	1.17	▲0.20
防府	1.13	▲0.22	柳井	1.17	+0.13
萩	1.32	▲0.07	全県	1.31	▲0.11

(資料) 厚生労働省 山口労働局
* 数値及び前年比は原数値 (全県の数値は季節調整値)

実質賃金（12月：前年比+0.7%、全業種・事業所規模5人以上）は3ヶ月ぶりに前年比プラス（名目賃金：同+2.7%）。**所定外労働時間**（12月：同▲3.2%）および**常用雇用**（12月：同▲0.2%）は前年比マイナスとなる。



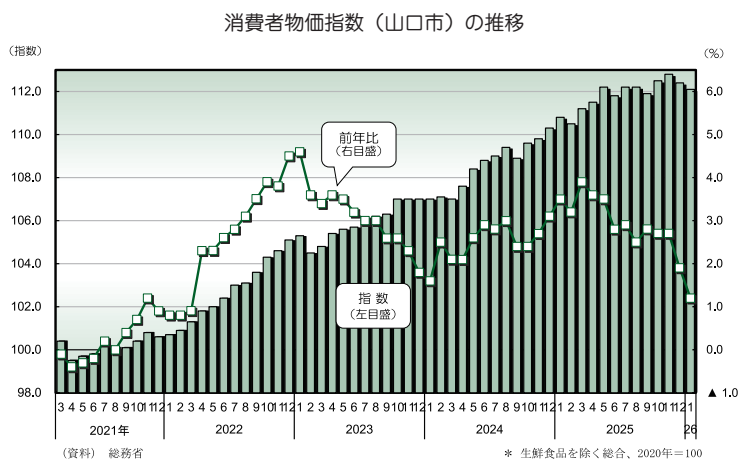
実質（名目）賃金・所定外労働時間・常用雇用指数
（2025年12月、25年1-12月平均）（単位：指数、%）

	2025年		2025年	
	12月	前年比	1-12月	前年比
名目賃金	109.6	+2.7	108.8	+3.0
実質賃金	95.4	+0.7	95.3	▲0.4
所定外労働時間	95.7	▲3.2	95.2	+1.8
常用雇用	102.5	▲0.2	101.6	▲0.7

（資料）山口県 総合企画部統計分析課
* 全業種、事業所規模5人以上 名目・実質賃金はきまって支給する給与

2 物 価 生鮮食品を除く総合指数は53ヶ月連続の前年比プラス

消費者物価指数（生鮮食品除く）（1月：前年比+1.2%）は53ヶ月連続で前年を上回り、依然高い水準を維持している。費目別では、米や野菜等が値上がりした「食料」（同+3.6%）、「光熱・水道」（同+0.5%）、「家具・家事用品」（同+0.2%）等が前年比プラスとなった。



消費者物価指数（25年1-12月平均、2026年1月）

（単位：指数、%）

	2025年		2026年	
	1-12月	前年比	1月	前年比
食料	127.4	+6.8	131.0	+3.6
住居	104.6	+0.1	104.4	▲0.1
光熱・水道	113.4	+4.0	115.3	+0.5
家具・家事用品	129.7	+3.9	127.0	+0.2
被服及び履物	110.8	+2.9	109.6	+0.5
保健医療	106.5	+1.3	107.4	+1.3
交通・通信	102.9	+2.7	101.5	▲1.3
生鮮食品除く総合	111.8	+2.9	112.1	+1.2

（資料）総務省 * 2020年=100

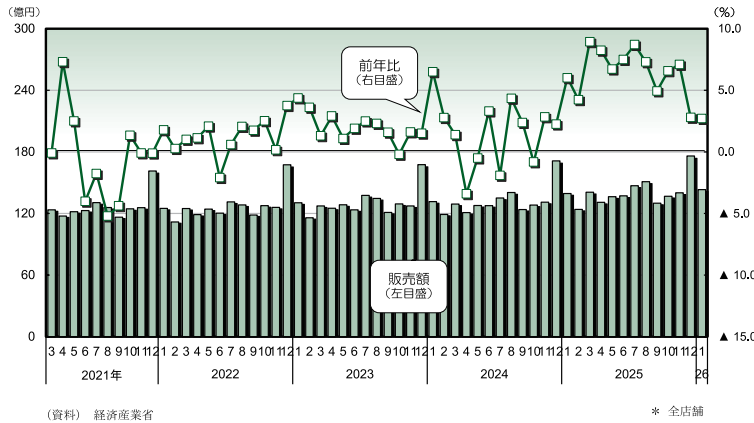
3

消費

百貨店・スーパー販売額が前年比プラスとなる等、持ち直しの動き

百貨店・スーパー販売額（1月：前年比+2.7%）は15ヶ月連続で前年を上回った。商品別に見ると、**衣料品**（同▲1.7%）、**身の回り品**（同▲0.5%）は前年比マイナスとなるが、**飲食物品**（同+3.1%）、**家庭用品**（同+4.5%）等は前年比プラスとなり、全体では前年を上回る水準となった。

百貨店・スーパー販売額の推移



百貨店・スーパー販売額
（25年1-12月累計、2026年1月）（単位：億円、%）

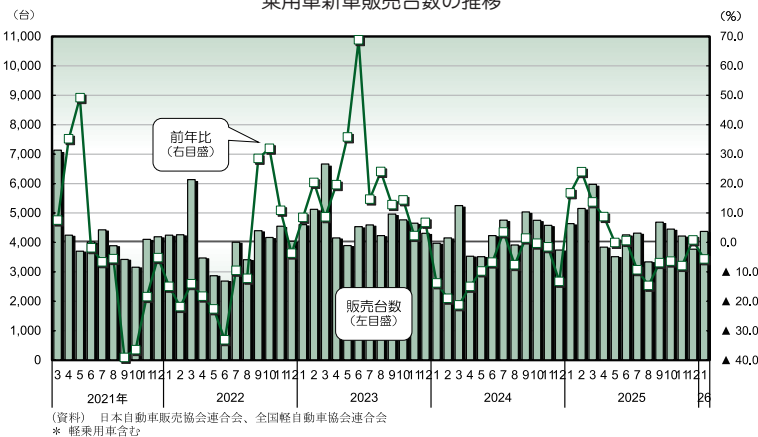
	2025年		2026年	
	1-12月	前年比	1月	前年比
衣料品	123	▲4.2	11	▲1.7
身の回り品	43	▲1.1	4	▲0.5
飲食物品	1,288	+7.0	109	+3.1
家庭用品	80	+16.0	7	+4.5
その他	150	+10.6	12	+3.8
合計	1,689	+6.5	143	+2.7

（資料） 中国経済産業局

* 全店舗

乗用車新車販売台数（軽乗用車含む）（1月：前年比▲5.6%）は2ヶ月ぶりに前年比マイナス。小型車（同+5.8%）は前年を上回ったが、普通車（同▲14.5%）、軽乗用車（同▲3.4%）は前年を下回った。**家電量販店販売額**（同+8.6%）、**ドラッグストア販売額**（同+2.6%）、**コンビニエンスストア販売額**（同+0.8%）は前年比プラスとなったが、**ホームセンター販売額**（同▲5.0%）は前年比マイナスとなった。

乗用車新車販売台数の推移



乗用車新車販売台数
（25年1-12月累計、2026年1月）（単位：百台、%）

	2025年		2026年		
	1-12月	前年比	1月	前年比	
乗用車	普通車	189	▲6.8	15	▲14.5
	小型車	115	+7.4	10	+5.8
	軽乗用車	217	+6.4	19	▲3.4
	合計	522	+1.4	44	▲5.6

（資料） 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

専門量販店等販売額
（25年1-12月累計、2026年1月）（単位：億円、%）

	2025年		2026年	
	1-12月	前年比	1月	前年比
家電量販店	395	+0.9	36	+8.6
ホームセンター	336	▲1.1	22	▲5.0
ドラッグストア	1,030	+3.8	81	+2.6
コンビニエンスストア	1,246	+0.9	101	+0.8

（資料） 経済産業省

4 観光 主要観光施設の利用者・宿泊者数は持ち直しの動き

主要観光施設利用者・宿泊者数（12月）をみると、海響館の来館者数（前年比全増）、錦帯橋の渡橋者数（同+9.6%）、秋芳洞の入洞者数（同+11.2%）、松陰神社の入込客数（同+7.0%）は全て前年比プラスとなる。温泉地の宿泊者数についても、湯田温泉の宿泊者数（同+6.5%）、湯本温泉の宿泊者数（同+11.3%）はともに前年比プラスとなった。

観光施設利用者数（2025年12月、25年1-12月累計）
（単位：人、%）

	2025年		2025年	
	12月	前年比	1-12月	前年比
海響館	44,573	全増	384,029	▲20.2
錦帯橋	43,740	+9.6	569,247	+0.6
秋芳洞	27,151	+11.2	460,621	+0.5
松陰神社	25,285	+7.0	324,045	▲5.2

（資料）山口県 総合企画部統計分析課、萩市商工観光部観光課

旅館の宿泊者数（2025年12月、25年1-12月累計）
（単位：人、%）

	2025年		2025年	
	12月	前年比	1-12月	前年比
湯田温泉	30,198	+6.5	362,532	+3.6
湯本温泉	16,131	+11.3	182,282	+7.5

（資料）山口県 総合企画部統計分析課

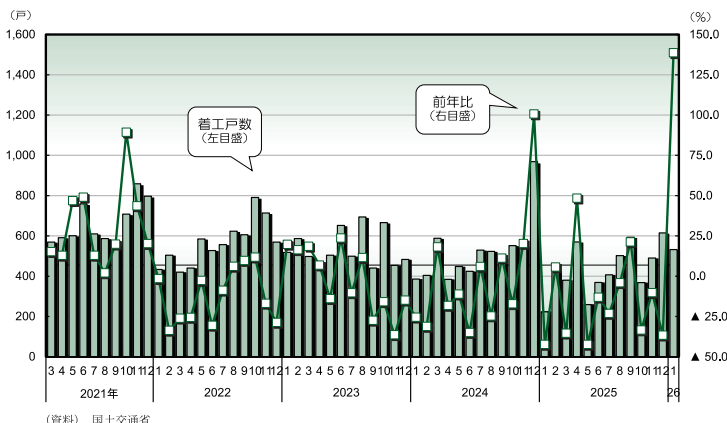
* 温泉旅館組合加盟旅館の宿泊者数（修学旅行生を含む）

* 海響館は2024年12月～2025年7月は改装のため休館

5 建設 住宅建築は4ヶ月ぶりの前年比プラスで大幅上昇、公共工事も前年比プラス

新設住宅着工戸数（1月：前年比+2.4倍）は4ヶ月ぶりに前年比プラスで大幅に上昇。利用関係別では、持家（同+2.1倍）、貸家（同+2.2倍）、分譲（同+4.4倍）と全て前年比2倍超となった。

新設住宅着工戸数の推移



（資料）国土交通省

新設住宅着工戸数（25年1-12月累計、2026年1月）

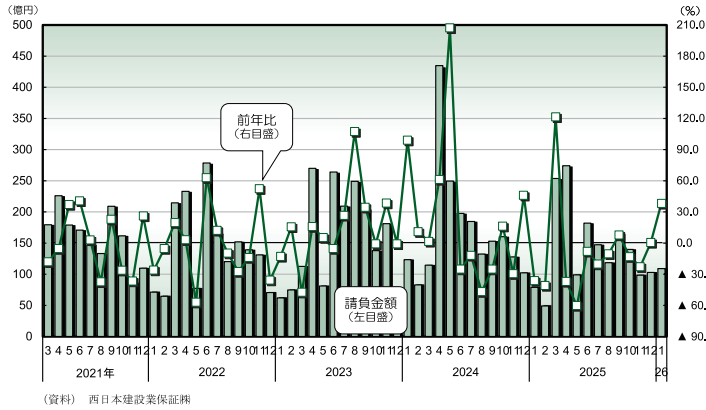
	2025年		2026年	
	1-12月	前年比	1月	前年比
持家	2,381	▲14.9	240	2.1倍
貸家	1,829	▲18.9	169	2.2倍
給与	20	▲50.0	0	▲100.0
分譲	973	▲15.3	123	4.4倍
マンション	413	▲15.2	55	全増
合計	5,203	▲16.6	532	2.4倍

（資料）国土交通省

* 給与は社宅や官舎等

公共工事請負金額（1月：前年比+38.2%）は2ヶ月連続で前年比プラス。発注者別では、**県**（同▲13.8%）、**市町**（同▲4.3%）は前年比マイナスとなるが、**国**（同+2.9倍）は前年比プラス。請負総額2億円以上の大型工事は、件数が13件（同+5件）、対象額が約66億2千万円（同+45億6千万円）と前年比プラスとなる。

公共工事請負金額の推移



公共工事請負金額（2025年4-12月累計、2026年1月）
（単位：億円、%）

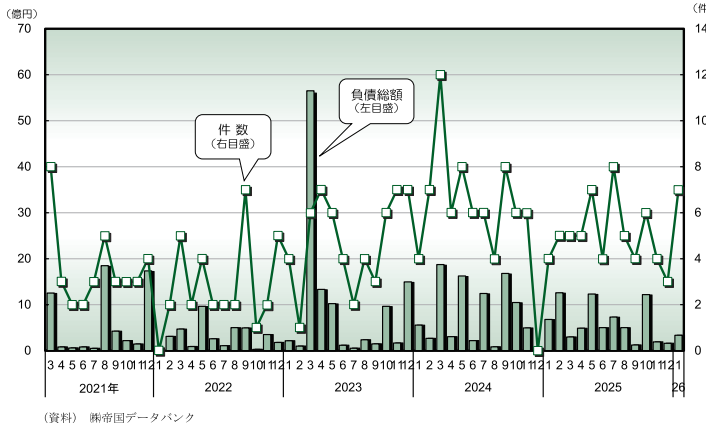
	2025年 4-12月		2026年 1月	
	前年比		前年比	
国	198	+1.6	30	2.9倍
独立 行政法人等	79	▲41.6	7	全増
県	484	+1.1	24	▲13.8
市 町	540	▲40.4	38	▲4.3
その他の 公共的団体	27	▲4.3	16	33.6倍
合 計	1,327	▲23.8	109	+38.2

（資料）西日本建設業保証㈱

6 倒産 負債総額は2ヶ月ぶりに前年比マイナスとなる

企業倒産（1月）は、**件数**が7件（前月比+4件、前年比+3件）で、**負債総額**は3億4千万円（前月比+1億8千万円、前年比▲3億5千万円）となり、2ヶ月ぶりに前年比マイナスとなる。**代位弁済**（1月）は、**件数**（前年比▲7.7%）、**金額**（同▲45.8%）ともに前年比マイナスとなった。

企業倒産件数・負債総額の推移



企業倒産件数・負債総額
（25年1-12月累計、2026年1月）（単位：件・億円、%）

	2025年 1-12月		2026年 1月	
	前年比		前年比	
件 数	60	▲17.8	7	+75.0
負 債 総 額	74	▲21.7	3	▲50.7

（資料）㈱帝国データバンク

代位弁済件数・金額
（2026年1月、25年4-12月）（単位：件・億円、%）

	2026 1月		2025年 4-12月	
	前年比		前年比	
件 数	24	▲7.7	308	+26.2
金 額	1	▲45.8	30	+26.1

（資料）山口県信用保証協会

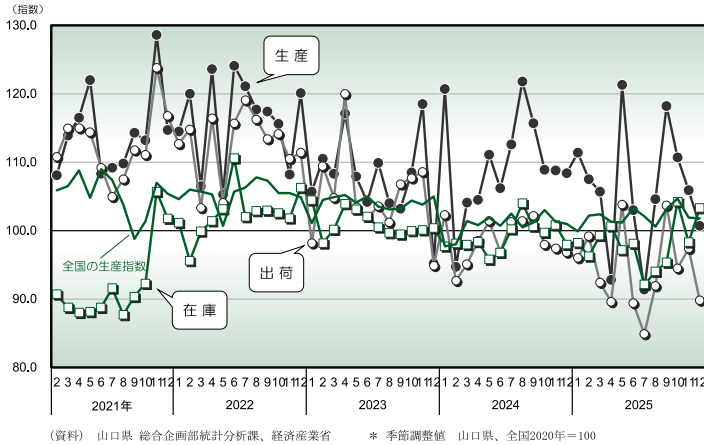
7

生産

鉱工業生産指数は3ヶ月連続で前月比マイナス

鉱工業生産指数（季節調整値）（12月：前月比▲4.9%）は100.7で3ヶ月連続で前月比マイナスとなり、前年比も▲5.7%と2ヶ月連続でマイナスとなる。**出荷指数**（同）（12月：同▲7.8%）は89.8で2ヶ月ぶりの前月比マイナス。**在庫指数**（同）（12月：同+5.1%）は103.3で2ヶ月ぶりの前月比プラスとなる。

鉱工業指数の推移



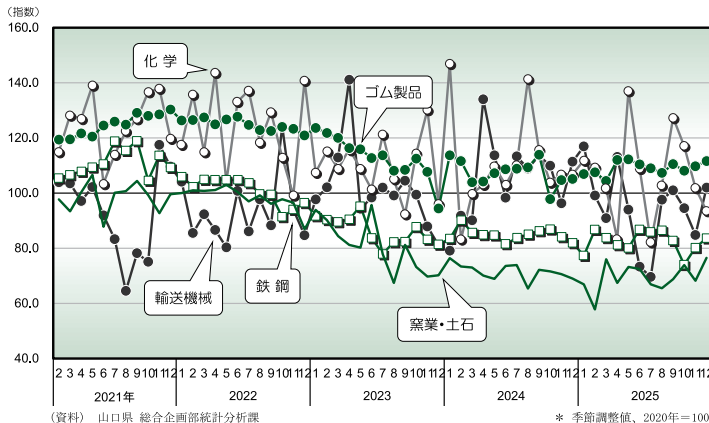
鉱工業指数（2025年12月、25年1-12月平均）

		2025年		2025年	
		12月	前年比	1-12月	前年比
生産	山口県	100.7	▲5.7	106.1	▲4.1
	全国	101.8	+2.6	102.0	+0.8
出荷	山口県	89.8	▲5.7	94.1	▲5.0
	全国	99.0	+1.3	100.3	+0.4
在庫	山口県	103.3	+5.4	98.1	▲0.9
	全国	98.2	▲2.8	100.1	▲2.1

(資料) 山口県 総合企画部統計分析課、経済産業省
* 指数は季節調整値、前年比は原数値
(山口県、全国2020年=100)

業種別に指数（季節調整値、2020年=100）の推移をみると、**輸送機械**（前月比+20.3%）、**鉄鋼**（同+4.2%）は前月比プラスとなるも、**化学**（同▲8.2%）は前月比マイナスとなる。品目別にみると化学では医薬品（同▲20.1%）等の生産が低下した。

鉱工業生産指数の推移（業種別）



鉱工業生産指数
（業種別：2025年12月、25年1-12月平均）

		2025年		2025年	
		12月	前年比	1-12月	前年比
鉄	鋼	83.6	+3.2	82.4	▲3.2
輸送機械		102.0	▲5.5	94.7	▲10.5
窯業・土石		76.5	+12.8	69.4	▲3.2
化学		93.5	▲10.6	106.5	▲5.1
ゴム製品		111.6	+5.9	109.1	+1.4

(資料) 山口県 総合企画部統計分析課
* 指数は季節調整値、前年比は原数値（2020年=100）

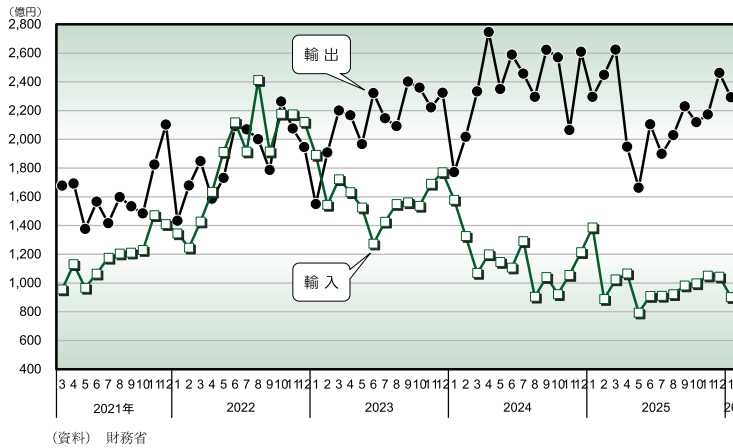
8

貿易

輸出額は2ヶ月連続で前年比マイナス、貿易バランスは36カ月連続の出超

輸出額（1月：前年比▲0.1%）は2ヶ月連続で前年比マイナス。欧州向けの自動車等の輸出が増えた防府港等2港は前年を上回ったが、徳山港など3港は前年を下回った。**輸入額**（1月：同▲35.0%）は3ヶ月連続で前年比マイナス。オーストラリアからの石炭等が減少した宇部港等5港全てが前年比マイナスとなった。なお、**貿易バランス（輸出額－輸入額）**（1月：+1,390億円）は36ヶ月連続の出超。

貿易額（輸出・輸入額）の推移



貿易額（2026年1月）

		輸出額		輸入額	
			前年比		前年比
下	関	907	+19.2	176	▲40.4
宇	部	60	+37.1	41	▲55.2
徳	山	396	▲15.1	433	▲25.5
防	府	826	▲6.1	121	▲24.4
岩	国	95	▲31.6	131	▲49.5
合	計	2,292	▲0.1	902	▲35.0

(資料) 門司税関

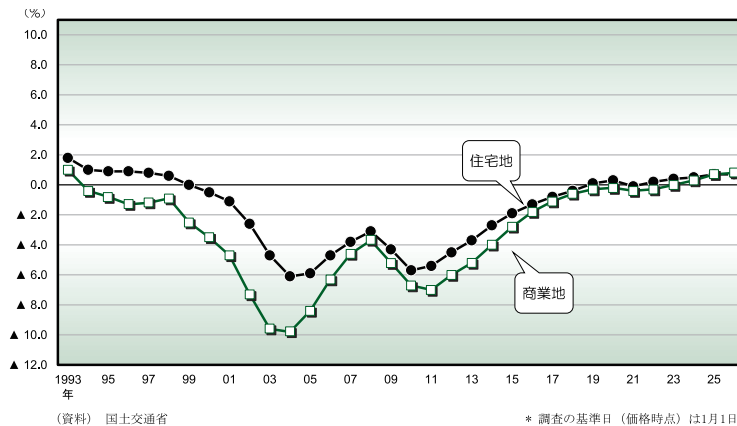
(資料) 財務省

トピックス

公示地価：住宅地は5年連続、商業地は3年連続で前年比プラス

山口県の**公示地価**（基準日：2026年1月1日）は、住宅地が前年比0.7%上昇（全国平均：+2.1%）と5年連続の前年比プラス。また、商業地は3年連続で前年比プラス（+0.8%）となった（全国平均：+4.3%）。市町別の変動率をみると、住宅地では伸び率が、和木町（変動率：+1.9%）山口市（同：+1.4%）、下松市（同：+1.1%）の順になるなど、11市町で上昇。商業地では、周南市、防府市、和木町等の10市町で上昇。

公示地価（商業地・住宅地）の推移（前年比）



主要都市別：前年比での地価変動率（住宅地・商業地）

	住宅地		商業地	
	2026年	2025年	2026年	2025年
下関市	+0.9	+0.8	+0.9	+0.8
宇部市	+0.5	+0.5	+0.9	+0.7
山口市	+1.4	+1.3	+0.8	+0.8
防府市	+1.0	+1.0	+1.4	+1.2
周南市	+0.5	+0.5	+1.7	+1.3
岩国市	+1.0	+1.0	+0.7	+0.7
県平均	+0.7	+0.7	+0.8	+0.7

(資料) 国土交通省*
調査の基準日（価格時点）は1月1日

(資料) 国土交通省

* 調査の基準日（価格時点）は1月1日



広島県内経済の動き

広島県内景気は、緩やかな回復基調にある

現 状



新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりにマイナスとなるなど、全体として弱めの動き。輸出額は2ヶ月連続で前年比マイナスであるが、生産活動は総じて横ばい圏内の動きとなっている。また、雇用情勢が緩やかに改善する下で、個人消費は物価上昇の影響を受けながらも緩やかに回復するなど、県内景気全体としては緩やかな回復基調にある。

先 行 き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

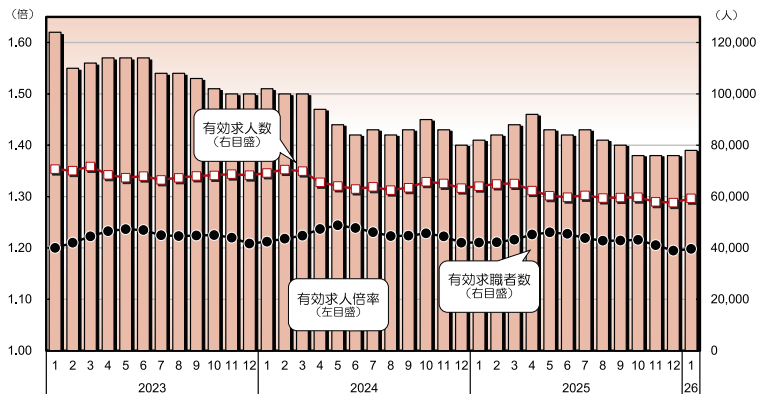
	景況判断		コメント
	景況判断	方向	
雇用情勢			有効求人倍率が1.39倍と高水準を維持するなど、緩やかに改善している(1月)。
個人消費			百貨店・スーパー販売額が7ヶ月連続で前年比プラスとなり、緩やかな回復基調にある(1月)。
住宅建築			新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりに前年比マイナス。分譲が前年比マイナスとなり、全体として弱めの動きとなっている(1月)。
公共工事			公共工事請負金額は4ヶ月連続で前年比マイナスとなるも、総じて横ばい圏内の動きとなっている(1月)。
生産活動			鉱工業生産指数は3ヶ月ぶりに前月比マイナスとなるも、全体として横ばい圏内の動きとなっている(12月)。
輸 出			輸出額は2ヶ月連続で前年比マイナスとなるが、全体として持ち直しの動きがみられる(1月)。
倒 産			負債総額は2ヶ月連続で前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている(1月)。

*「景況判断」および「方向」は、山口県同様、5段階の天気マーク(晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨)と前月からの基調としての変化方向(好転・不変・悪化)で表示

1 雇用

有効求人倍率は1.39倍と高水準を維持(1月:前月比+0.01P 季節調整値)

有効求人倍率(有効求人数・有効求職者数)の推移

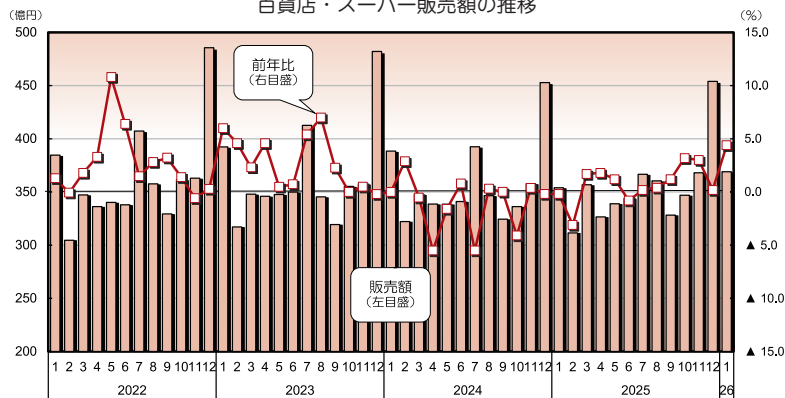


(資料) 厚生労働省 広島労働局 * 有効求人倍率は季節調整値、有効求人数及び有効求職者数は原数値

2 消費

百貨店・スーパー販売額は7ヶ月連続で前年比プラス(1月:前年比+4.4%)

百貨店・スーパー販売額の推移

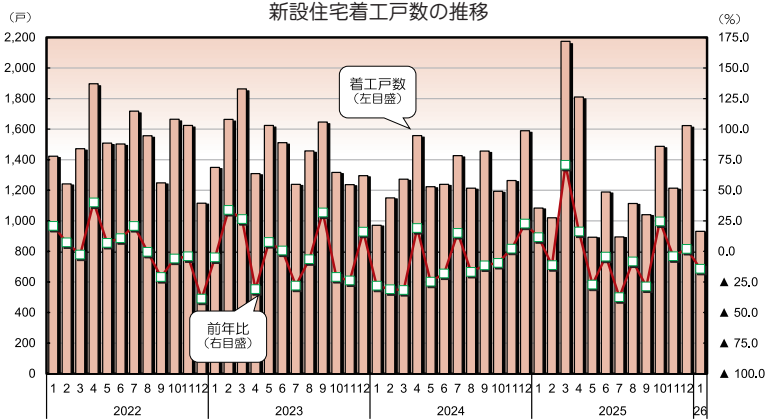


(資料) 経済産業省 * 全店舗

3 建設 (住宅)

新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりに前年比マイナス(1月:前年比▲14.1%)
(持家:同+16.4% 貸家:同+2.2% 分譲:同▲42.9%)

新設住宅着工戸数の推移

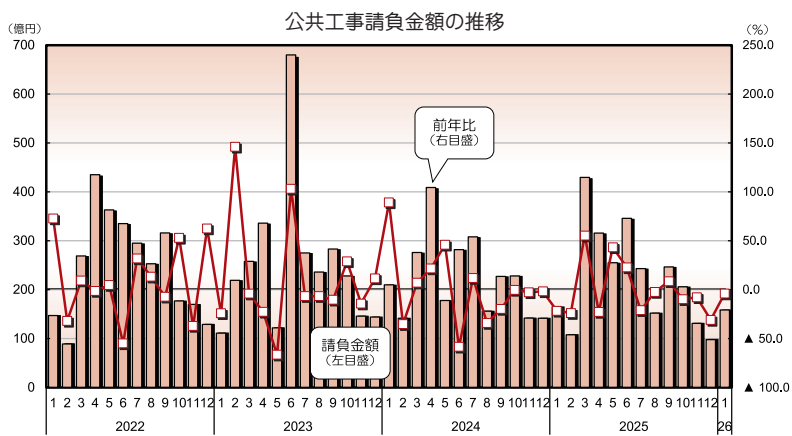


(資料) 国土交通省

4

建設
(公共工事)

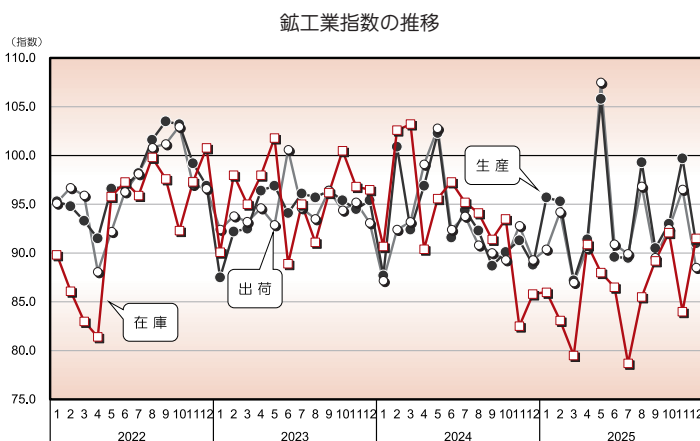
公共工事請負金額は4ヶ月連続で前年比マイナス（1月：前年比▲3.9%）



5

生産

鉱工業生産指数は3ヶ月ぶりの前月比マイナス（12月：前月比▲8.7% 季節調整値）

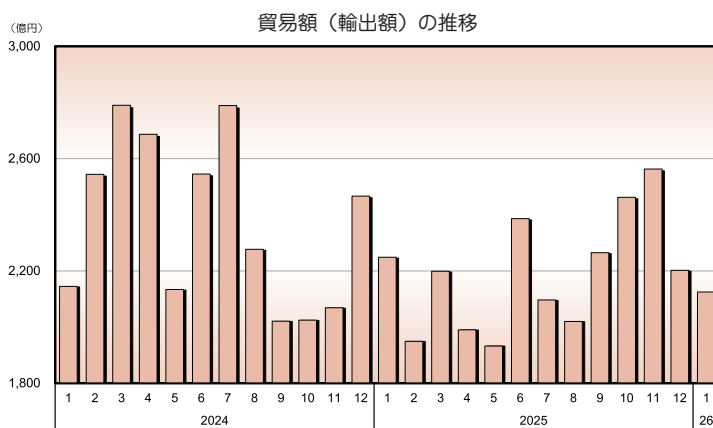


鉱工業生産指数
自動車：前月比▲7.1%

6

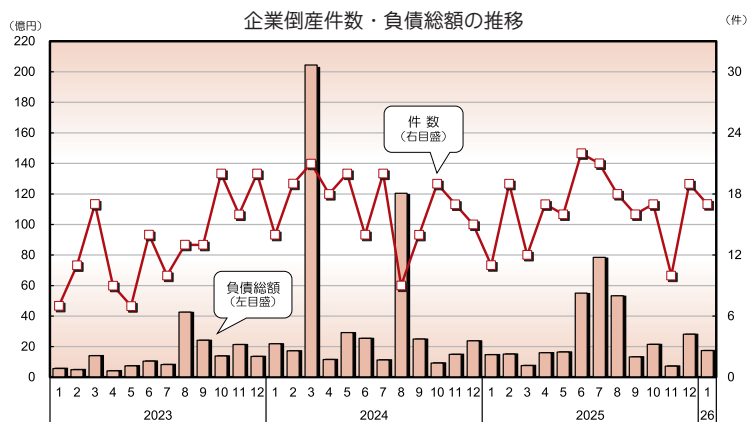
輸出

輸出額は2ヶ月連続で前年比マイナス（1月：前年比▲5.5%）



7 倒産

負債総額は2ヶ月連続で前年比プラス（1月：前年比+18.8%）





福岡県内経済の動き

福岡県内景気は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに回復している

現 状



新設住宅着工戸数が2ヶ月ぶりに前年比マイナスとなる一方、個人消費は百貨店・スーパー販売額が2カ月ぶりに前年比プラスとなるが、総じて横ばい圏内の動き。輸出額は2ヶ月連続で前年比プラスで、生産も2ヶ月ぶりに前月比プラス。県内景気は一部で弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。

先行き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした

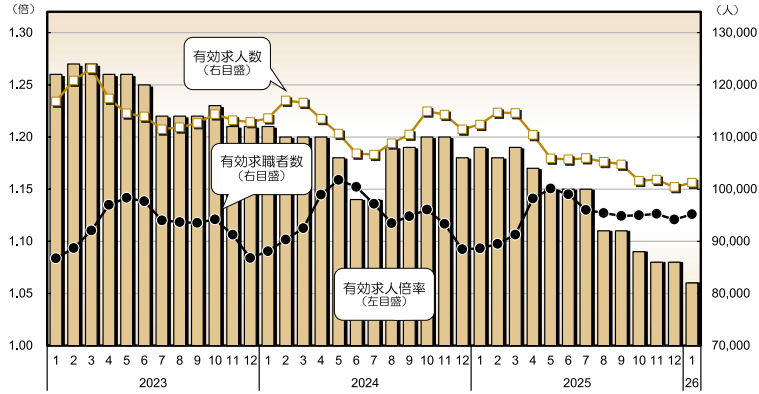
	景況判断		コメント
	方向		
雇用情勢			有効求人倍率は1.06倍と前月比マイナスとなるも、全体としては緩やかに改善している(1月)。
個人消費			百貨店・スーパー販売額は2ヶ月ぶりに前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている(1月)。
住宅建築			新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりに前年比マイナスとなったものの、総じて横ばい圏内で推移している(1月)。
公共工事			公共工事請負金額は2ヶ月連続で前年比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内の動き(1月)。
生産活動			鉱工業生産指数は2ヶ月ぶりに前月比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている(12月)。
輸 出			輸出額は2ヶ月連続で前年比プラスとなるが、総じて横ばい圏内で推移している(1月)。
倒 産			負債総額は3ヶ月連続で前年比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内で推移している(1月)。

*「景況判断」および「方向」は、山口県同様、5段階の天気マーク(晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨)と前月からの基調としての変化方向(好転・不変・悪化)で表示

1 雇用

有効求人倍率は1.06倍と前月比マイナス(1月:前月比▲0.02P季節調整値)

有効求人倍率(有効求人数・有効求職者数)の推移



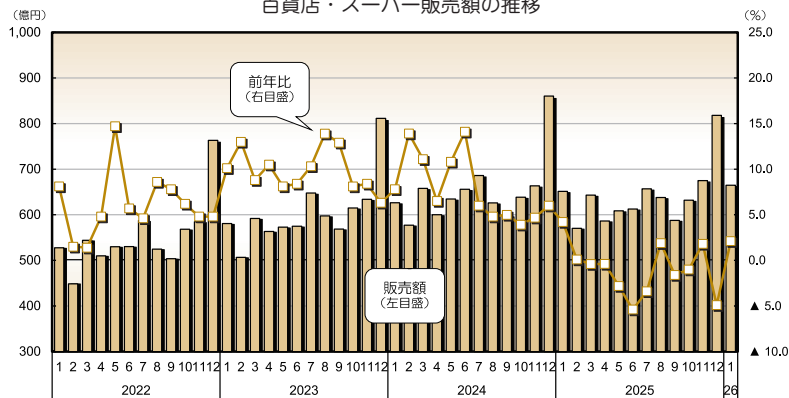
(資料) 厚生労働省 福岡労働局

* 有効求人倍率は季節調整値、有効求人数及び有効求職者数は原数値

2 消費

百貨店・スーパー販売額は2ヶ月ぶりに前年比プラス(1月:前年比+2.1%)

百貨店・スーパー販売額の推移



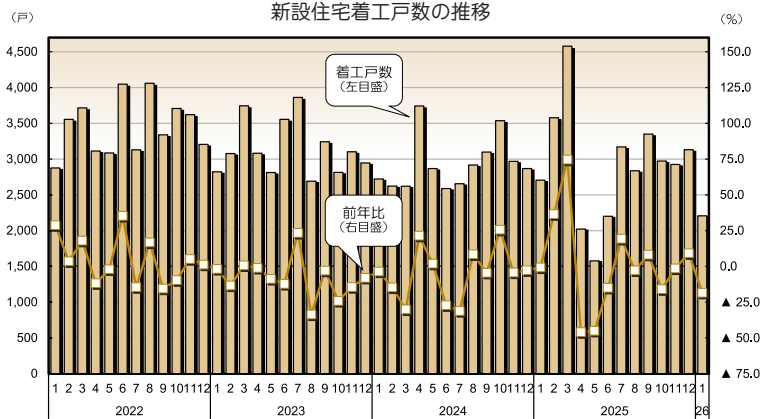
(資料) 経済産業省

* 全店舗

3 建設
(住宅)

新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりに前年比マイナス(1月:前年比▲18.4%)
(持家:同+1.0% 貸家:同▲8.3% 分譲:同▲41.5%)

新設住宅着工戸数の推移

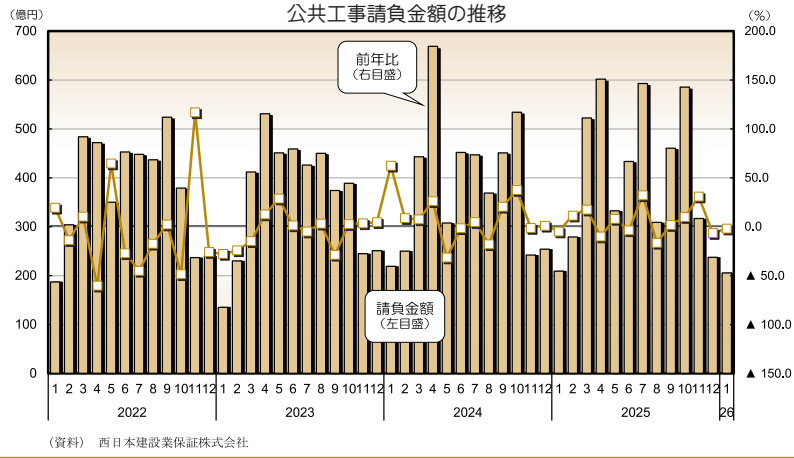


(資料) 国土交通省

4

建設
(公共工事)

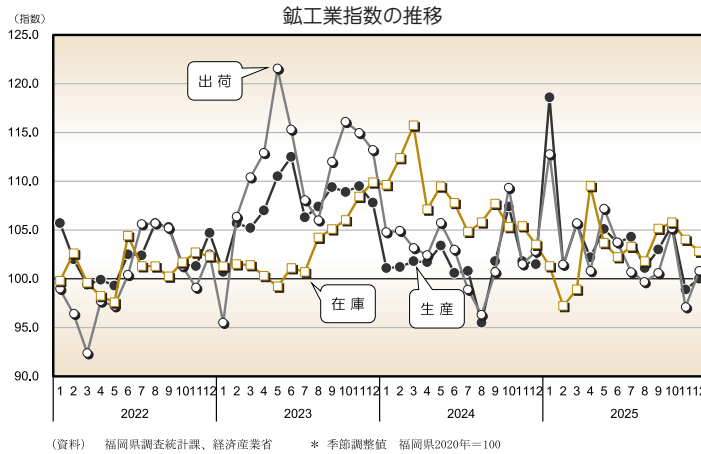
公共工事請負金額は2ヶ月連続で前年比マイナス（1月：前年比▲1.9%）



5

生産

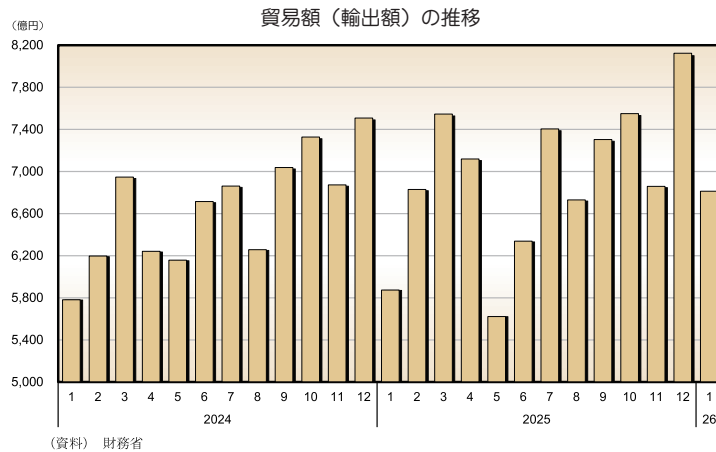
鉱工業生産指数は2カ月ぶりに前月比プラス（12月：前月比+1.1% 季節調整値）



6

輸出

輸出額は2ヶ月連続で前年比プラス（1月：前年比+16.0%）



7 倒産

負債総額は3ヶ月連続で前年比マイナス（1月：前年比▲53.4%）

